

米販売動向調査について（全米販）（令和7年6月分）

1. 回答数 60会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年6月（令和6年6月）と比べた令和7年6月の米販売動向

「減った」と「やや減った」の回答を合わせると約7割になる。

Q3：3か月前（令和6年12月）と比べた米販売動向

「悪くなっている」と「やや悪くなっている」を合わせると約6割になり、DI値は「35.8」。

Q5：3か月先（令和7年6月頃）の米販売動向見通し

「悪くなっている」と「やや悪くなっている」を合わせると5割になり、DI値は「40.0」。

3. 集計結果

Q1：昨年6月（6年6月）と比べた令和7年6月の米販売動向

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
60	12	4	4	12	28
100.0%	20.0%	6.7%	6.7%	20.0%	46.7%

Q3：3か月前（7年3月）と比べた米販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
60	7	5	14	15	19
100.0%	11.7%	8.3%	23.3%	25.0%	31.7%

DI値
35.8

Q3(参考)規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
42.9	32.5	34.6

Q5：3か月先（7年9月頃）の米販売動向見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
60	1	15	14	19	11
100.0%	1.7%	25.0%	23.3%	31.7%	18.3%

DI値
40.0

Q5(参考)規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
35.7	45.0	38.5

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満
規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（7年6月）の米販売動向（6年6月との比較）

1. 入札、随意契約の備蓄米のアナウンス及び実納品が始まり、6年産銘柄米や複数原料米の販売に急ブレーキがかかった。
2. 精米販売は微減に留まっているが、玄米販売が大きく数字を落としており、全体としては5%以上の減少。
3. 備蓄米の登場で1回食べてみようという消費者が増え、量販店の販売は好調に推移した。反面、米穀店が影響を受けている。

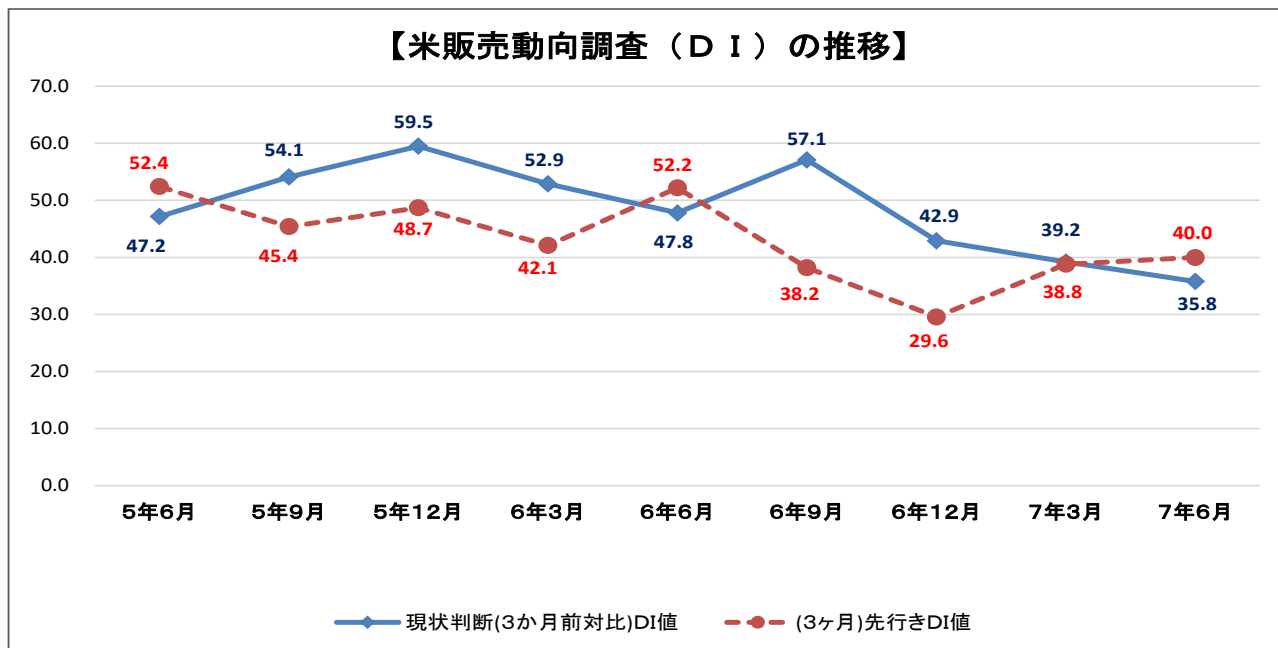
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

1. 新たに備蓄米が投入され、同時に輸入米の流通が増えてきた影響で、銘柄米の販売に影響が出ている。
2. 備蓄米の影響と、自県産は7月から新米が取れるのでその買い控えもあるかもしれないが、量販店を中心に販売量が激減している。
3. 備蓄米の販売が好調な分、銘柄米の販売が苦戦。

Q5：将来（3か月後）の動き

1. 新米の販売開始に伴い供給量は増えるが、需要が付いてくるかは不透明。
2. 玄米販売に関しては現状新規の話が皆無のため積み上げを図らなくてはならないが、政府の動き次第では厳しいケースも想定される。
3. 備蓄米の販売が8月いっぱい無くなって以降、新米スタートと同時に各卸が切替を行うのか、6年産米が在庫過多となっているので新米販売を遅らせるのか、によっても相場環境に影響が出てくる。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年6月（6年6月）と比べた令和7年6月の米販売動向

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	20.9	11.6	11.6	14.0	41.9
中小スーパー	100%	14.0	12.3	19.3	17.5	36.8
米穀専門店	100%	11.5	11.5	23.1	21.2	32.7
その他	100%	11.1	8.9	17.8	11.1	51.1
(外食産業向け)						
外食向け	100%	11.1	8.9	17.8	11.1	51.1
中食向け	100%	8.8	12.3	49.1	17.5	12.3
給食向け	100%	5.3	10.5	61.4	17.5	5.3

Q4：3か月前（7年3月）と比べた米販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	18.6	9.3	18.6	30.2	23.3	42.4
中小スーパー	100%	12.3	10.5	29.8	22.8	24.6	40.8
米穀専門店	100%	3.8	15.4	36.5	28.8	15.4	40.9
その他	100%	9.1	2.3	25.0	15.9	47.7	27.3
(外食産業向け)							
外食向け	100%	1.8	14.0	57.9	15.8	10.5	45.2
中食向け	100%	3.5	12.3	56.1	21.1	7.0	46.1
給食向け	100%	1.8	10.5	63.2	12.3	12.3	44.3

Q6：3か月前（7年9月頃）の米販売動向見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	4.7	23.3	23.3	30.2	18.6	41.3
中小スーパー	100%	1.8	29.8	24.6	28.1	15.8	43.4
米穀専門店	100%	0.0	15.1	47.2	20.8	17.0	40.1
その他	100%	2.2	20.0	40.0	13.3	24.4	40.6
(外食産業向け)							
外食向け	100%	1.8	17.9	66.1	14.3	0.0	51.8
中食向け	100%	1.8	17.5	61.4	15.8	3.5	49.6
給食向け	100%	0.0	14.0	68.4	12.3	5.3	47.8

*DI (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				